

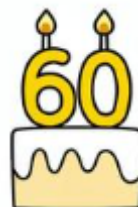
生徒指導だより

～ やさしさを持って、いきいき、たくましく生きる ～

令和6（2024）年
2月2日（金）

高槻市立第六中学校
生徒指導部通信 No.35

第六中学校の歴史



今回はみなさんが通っている第六中学校について紹介します。1963年4月1日高槻市立第六中学校として開校しました。1964年2月1日に現在地に校舎完成が完成しました。そしてこの校舎の完成日を創立記念日としました。

昨日の2月1日がそうでしたね。今は2024年なのでこの校舎は60年間の歴史があることになりますね。2月13日（火）に学校が創立されて60周年として放課後に植樹式と記念品の贈呈式が行われます。記念品は翌日に生徒全員に配られる予定です。執行部が六中生の代表として出てもらいますが、正面玄関の前で行われるので、是非帰りに少し立ち寄ってみてください。みんなが日ごろ何気なく使っている校舎も60年という歴史を持っていることも改めて感じてみてください。

第六中学校の長い歴史の中で多くの人たちがここで学び、卒業していきました。みんなの親の中には六中を卒業したという人もいるかもしれません。これからも70年、80年とどんどん歴史を重ねていくと思います。そのなかで、六中を大切にしてくれた人たちのおかげで今もきれいな状態が保っています。もちろん修理や内装、外装工事なども行っていますが、日ごろの掃除であったり、教室や校舎、学校の施設を大事に使っていることが今の六中につながっています。これからも高槻市立第六中学校がみんなにとって大切な場所であることを意識して、今までの先輩やこれからの後輩のためにもそして自分たちのために使っていきましょう。



避難訓練



1月25日(木)の6時間目に避難訓練を行いました。今回はまず石川県の能登半島地震について学びました。1月1日に起きた地震はみんなにとっても身近なことでした。自分たちが今できることは災害時に正しい判断ができるように学び、訓練することです。一人ひとりの自助が共助につながっていくことも今回確認できたと思います。その後、火災についても学びました。火災というとやけどなどをイメージする人が多かったですが、実際は建物の中で火災が起きた時に一番危険なことは『一酸化炭素中毒』です。これは煙と違って目に見えずに、臭いもありません。火災の時に一番必要なことはまず安全な場所(外)の逃げるということです。火は酸素を使い燃えます。その酸素が空気中に少なくなると一酸化炭素が発生します。火災以外にも換気せずにものを燃やし続けると同じようなことが起こりますので注意しましょう。

地震と火災のことを学んだあとに、避難訓練を行いました。避難訓練の様子は学校のホームページにもあげていますので是非見てください。先生たちはいつもトランシーバーを着用しています。それはみんなの安全を守ることを第一に今年から使っています。今回の避難訓練もトランシーバーで情報をやり取りしました。災害時には放送機械が壊れてしまう時もあります。そういった時にも使用できますので先生たちの避難指示訓練も兼ねて行っています。みんなの感想や質問は職員室前に来週以降掲示しますので、必ずみてください。避難訓練が終わった後にも災害について安全について考えていくことが大切になります。災害がいつ起こるかわからないから不安になるのではなく、いつ起こってもいいようにしっかりと今回の訓練ができたという自身をもってください。気になることがあればいつでも先生たちに相談しに来てください。



☆今後の六中の予定☆ 予定は変更されることがあります。

2月5日	月	月1～5総	17:30 下校開始
6日	火	1・2年:火1～6	3年:火1～5
7日	水	道水2～5	
8日	木	木1～5総	
9日	金	金1～5特総	